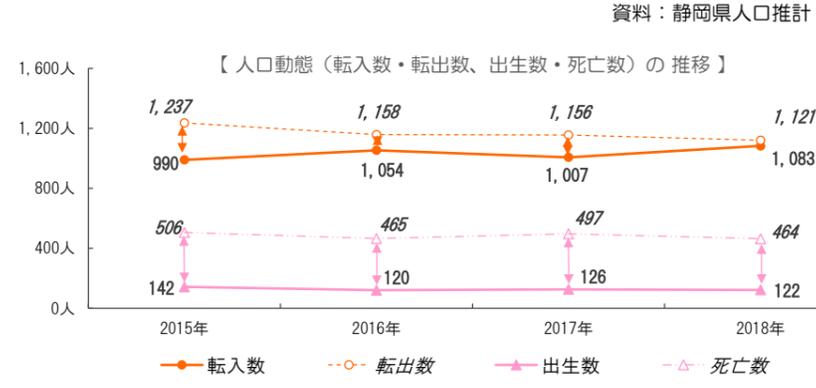
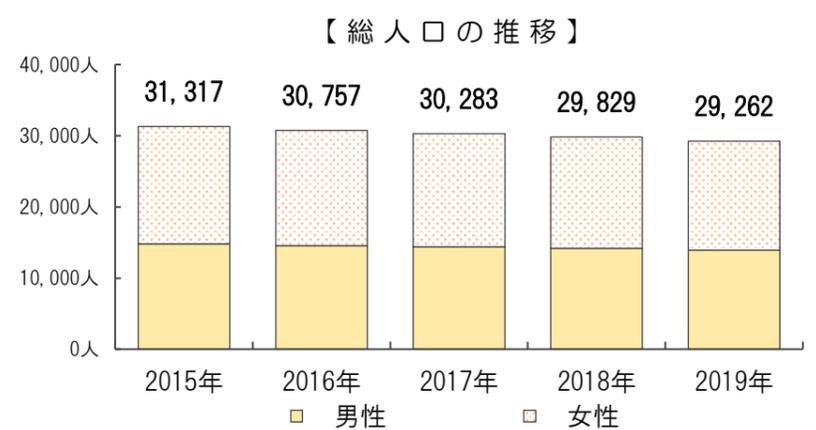


～ 第2期人口ビジョンにおける 2045 年の将来目標人口 ～

伊豆市の人口の現状

- 2010 年(H22)の国勢調査を基数に策定した第1期人口ビジョンにおいては、2015年(H27)の人口を32,200人、2020年では30,300人、2040年では23,000人を目標人口に掲げ、人口減少対策に取り組んできました。
- 2015年(H27)の国勢調査における伊豆市の人口は31,317人でした。また、国勢調査の結果を基にした推計人口は、2019年で29,262人となっており、人口ビジョンの目標人口を下回っているものの、国立社会保障・人口問題研究所の最新の推計人口を上回る結果となっています。
- 人口動態については、出生・死亡による自然動態による減少幅は同程度で推移していますが、転出・転入による社会動態の差はかなり減少してきており、均衡に近づいています。



	2015年	2016年	2017年	2018年
社会減(人)	-247	-104	-149	-38
自然減(人)	-364	-345	-371	-342
人口減(人)	-611	-449	-520	-380

資料：住民基本台帳

人口減少を抑制するために

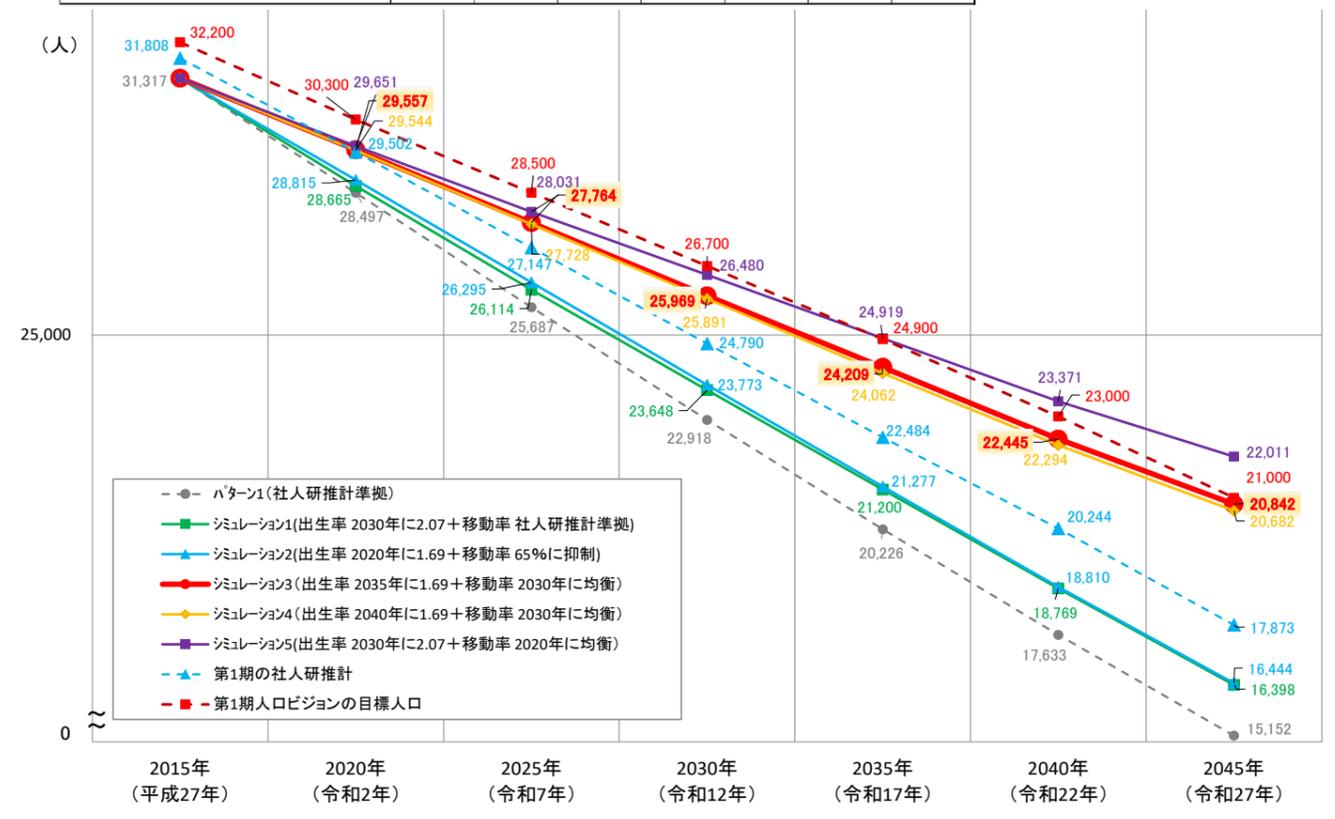
- 転入と転出の差をなくす『社会移動率の均衡』を目指す。
人口を維持していくためには、出生率の増加に加え、転出・転入の差がゼロとなる社会移動率の均衡が不可欠です。第1期総合戦略に基づく人口減少対策により改善が見られた社会移動率について、人口減少対策の更なる強化にチャレンジしていくことで、早期の達成を目指します。

人口推計のシミュレーションについて

- 第2期人口ビジョン策定に向け、国から提供された“市町村別人口推計ソフト(令和元年6月版)”を用いて、第1期人口ビジョンの目標設定の考え方や静岡県の方針等を踏まえ、シミュレーションを行いました。その結果は右記のとおりです。

シミュレーション結果

	2015年 (H27年)	2020年 (R2年)	2025年 (R7年)	2030年 (R12年)	2035年 (R17年)	2040年 (R22年)	2045年 (R27年)
パターン1 【社人研推計準拠】	31,317人	28,497人	25,687人	22,918人	20,226人	17,633人	15,152人
シミュレーション1 【出生率 2030年に2.07+移動率 社人研推計】	31,317人	28,665人	26,114人	23,648人	21,200人	18,769人	16,398人
シミュレーション2 【出生率 2020年に1.69+移動率 65%に抑制】	31,317人	28,815人	26,295人	23,773人	21,277人	18,810人	16,444人
シミュレーション3 【出生率 2035年に1.69+移動率 2030年に均衡】	31,317人	29,557人	27,764人	25,969人	24,209人	22,445人	20,842人
シミュレーション4 【出生率 2040年に1.69+移動率 2030年に均衡】	31,317人	29,544人	27,728人	25,891人	24,062人	22,294人	20,682人
シミュレーション5 【出生率 2030年に2.07+移動率 2020年に均衡】	31,317人	29,651人	28,031人	26,480人	24,919人	23,371人	22,011人
第1期の社人研推計	31,808人	29,502人	27,147人	24,790人	22,484人	20,244人	17,873人
第1期人口ビジョンの目標人口	32,200人	30,300人	28,500人	26,700人	24,900人	23,000人	21,000人



第2期人口ビジョンの目標人口について

- 第1期総合戦略で2040年に約23,000人と設定した目標をベースに、第2期総合戦略に基づく人口減少を抑制する様々な施策の効果により、2045年に約21,000人の人口を目指していきます。
そのためには、2030年に社会移動を均衡(転入数=転出数)するとともに、出生率については、国が目標としている2040年の出生率上昇よりも5年間前倒した2035年に1.69(静岡県の長期人口ビジョン(改訂)で示されている合計特殊出生率2.07を、県全体で達成するとした場合の伊豆市の比率)となることを目標とします。
【シミュレーション3の推計結果】
- ➡ 第2期人口ビジョンでは、2040年に約23,000人、2045年に約21,000人を目標人口として設定します。